

平成 26 年 安曇野市版環境家計簿 集計結果

1 目的

「安曇野市地球温暖化対策実行計画」の推進に関連し、エネルギー消費に係る二酸化炭素排出量の把握と、市民への普及啓発を目的として実施した。

2 対象者

市内在住の世帯

3 調査方法

郵送により調査票の送付及び回収を行った。

4 調査項目

(1) エネルギー消費量

平成 26 年 1～12 月の電気・LP ガス・灯油・ガソリン・軽油の使用量

(2) 省エネについて日頃取り組んでいること

5 調査期間

平成 26 年 1 月～12 月

6 回答世帯数・世帯の概略

(1) 世帯数：48 世帯

(2) 世帯の平均人数：3.5 人（1 人～7 人）

(3) 住居の種別：一戸建て 45 世帯／アパート 3 世帯

(4) 自動車の平均保有台数：ガソリン車 3.6 台／軽油車 0.2 台

7 調査結果

今回の集計結果について、エネルギー源ごとの 1 世帯あたりおよび 1 人あたり温室効果ガス排出量を前回集計結果と比較すると、表 1 のとおりであった。

表1 温室効果ガス排出量 増減以外の単位：kg-CO₂

エネルギー源	温室効果ガス排出量(kg-CO ₂)					
	1世帯あたり(H25)	1世帯あたり(H26)	増減(H25→H26)	1人あたり(H25)	1人あたり(H26)	増減(H25→H26)
電気	2,813.2	2,829.6	5.8%	806.4	803.7	△3.3%
LPガス	413.0	435.9	44.6%	118.4	123.8	54.4%
灯油	2,113.4	1,724.0	△18.4%	605.8	489.7	△19.2%
ガソリン	3,205.3	2,863.0	△10.7%	918.9	813.2	△11.5%
軽油	842.9	337.0	△60.0%	241.6	95.7	△60.4%
合計	9,387.8	8,189.5	△12.8%	2,691.2	2,326.0	△13.6%

今回の集計で採用した温室効果ガス排出係数は、表2のとおりである。電気は平成24年の推計値を使用し、他は変更されていない。

表2 温室効果ガス排出係数

エネルギー源	排出係数	エネルギー源	排出係数
電気	0.516*	ガソリン	2.3
LPガス	6.2	軽油	2.6
灯油	2.5		

※環境省報道発表資料による (<https://www.env.go.jp/press/press.php?serial=17532>)

なお、「安曇野市地球温暖化対策実行計画」では、電気、LPガス、灯油の合計を民生家庭部門として計算している。今回の同じ項目の合計は、5.34t-CO₂であった。実行計画に掲載されている、平成20年度(2008年度)の排出量推計結果(3.12t-CO₂/世帯)と比較すると、1世帯あたりの排出量は約1.6倍と大きくなっている。

表3 1世帯あたり排出量の前回推計結果との比較 増減率以外の単位：t-CO₂

実行計画策定時推計(H20年度)	前回(H25年)	今回(H26年)	増減率(H20→H26)
3.12	5.34	4.99	59.9%

また、今回の調査で寄せられた、省エネに関する取り組みは以下の通りであった。

① 電気

- 冷蔵庫を省エネ型に買い換えた
- LED 電球をさらに増加しました。
- 居間、台所の照明灯を LED に秋口に交換。後期電気量は前年同期比約 224kwh の減少となりました。
- 昨年までガスを母屋と離れで別々でしたが一つにしました。LED は全部一度に換えられないので少しずつ換えています。
- 使わない電気は消す。コンセントから抜く
- 無駄な電気を消すように心がけた
- こまめに電気を消す
- テレビは今までつけっぱなしのケースが多かったがこまめにスイッチを切るようにした
- 凍結防止帯は気温がプラスの日中はコンセントより抜いた

② 冷暖房・給湯

- 灯油もお風呂を長時間焚いたままにしないにしないこと、又、室内のストーブも温度を見ながら消すように努めてみました。昨年より、電気灯油の使用量が減少した。
- 部屋が温まれば、低温に設定しました。
- 薪ストーブの使用でガス、電気の使用を抑える
- 昨年までガスを母屋と離れで別々でしたが一つにしました。
- 暖房を極力使わなかった。
- エコキュートで深夜に沸かした湯がなくならないように食器の手洗いをやめ、深夜に食洗機で洗うようにした。
- 暖房に頼らず厚着をする
- 電気ストーブをエコ運転にし、電気と灯油の使用量を抑えることができた。
- 既設のボイラー2 台のうち、常時稼働の用がない 1 台については、使用時のみの稼働操作に努めた。結果、電気使用料及び灯油使用料の削減となった。
- 家風呂ではなく、浴場を利用する。
- コタツに豆炭を使用
- 風呂に薪を使用
- 暑い日は、図書館等の公共施設を利用する。
- 湯たんぽを作る
- 暖房は一部屋に集中して皆で同じ部屋で過ごす時間を増やしました。
- 暖房は来客以外の時は 15℃位に設定など

③ 自動車

- 夏場や天気のいい日は車を使用せずに自転車やバイクを利用しました。しかし全体的にガソリンの使用料が減らなかったのが家族みんなできっと必要があるということに再認識しました。
- ガソリンのムダ使いをしないよう、特に気をつけて運転をしました。11月に新車に買い替えたのを機に、更に意識しています。エンジンを止めた時に、運転のエコスコアが表示されるので、自分の運転がどうだったのか振り返ることができます。新車なので燃費が向上したこともありますが、給油量が減りました。
- 車を燃費良い軽自動車に乗り換えました。月々のガソリン代がかなり多くかかっていたので、少し効果が出てきていると思いますが、11月に変えたので、今後は楽しみです。
- 子供が生まれたばかりで、ほとんど外出しない生活でしたので、車を大きくしたのに、ガソリン代が減りました。
- 信号待ちの時はエンジンを止めてアイドリングストップを実行しています。
- 自転車通勤を4月～11月くらいまで行った。しかしガソリン代に大きな変化がない…。
- 近くの店は徒歩で

④ 普及啓発

- 子どもたちに、お湯や水を大事に使うことと、点けたら消すということを何かにつけて話した。
- 小学生の子どもと一緒にキッズ ISO の取り組みに参加した。

⑤ その他

- クールシェア、ウォームシェアのできる図書館へ行く回数を増やした。（過ごす時間も）往復で使ったガソリンと家で使うであろう電気、灯油との比較まではしていないけど、少しでも省エネになっていれば…と願います…本を借りてくることで、テレビがついている時間は少しだけ減った気がします。